



ART FRONT GALLERY

文化庁懇談会（第3回）

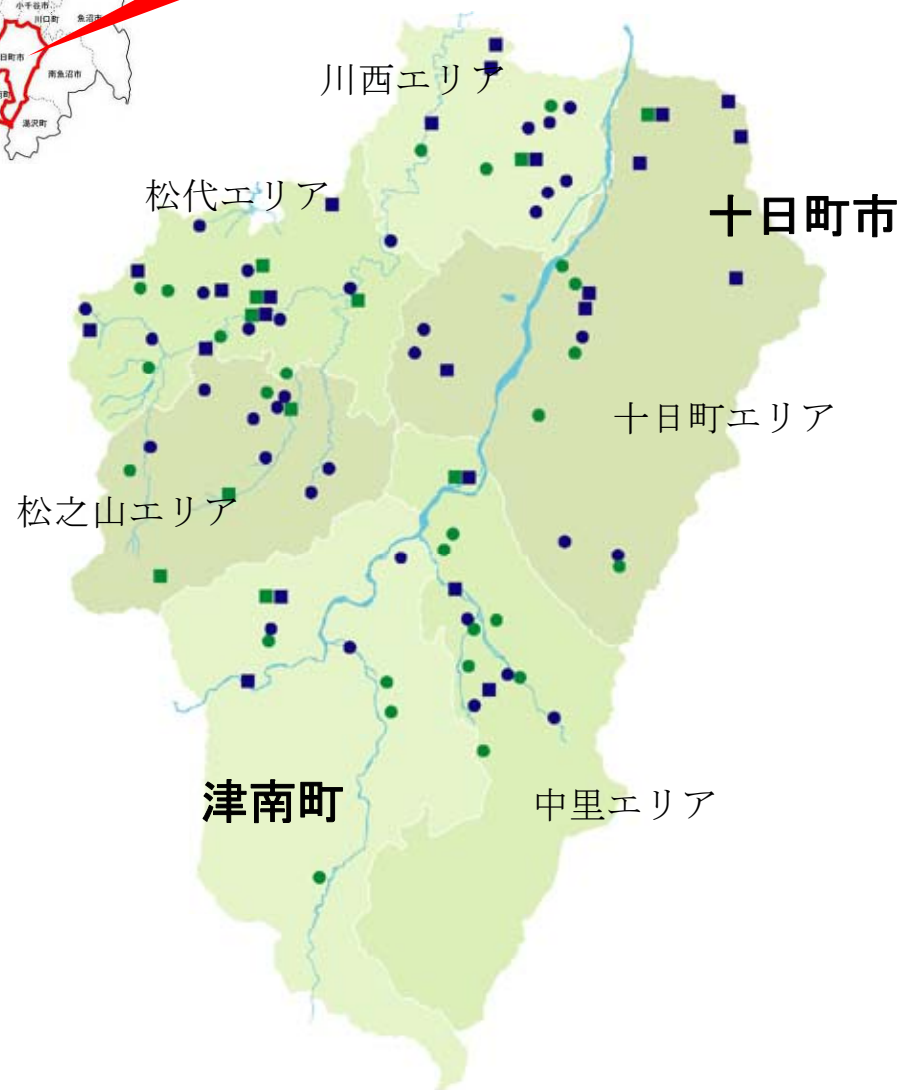
2008.2.25

北川 フラム



越後妻有地域

1市1町 762km²
約75,000人



河岸段丘



豪雪



棚田

越後妻有アートトリエンナーレ



- ・ 裏日本
- ・ 世界一の豪雪地帯
- ・ フォッサマグナの東端
- ・ 厳しい農業地（棚田・瀬替え）
- ・ 都市へのエネルギー供給（原発、JR発電所）

10年間の人口推移

1955年	122,761人（65歳以上の人口% 6.5%）
2005年	73,777人（ 同上 30.5%）



【地域・ジャンル・世代を超えた協働】

	参加作家	ネット登録者数
第1回	32カ国136組	約800人
第2回	23カ国157組	約770人
第3回	40の国と地域225組	約930人

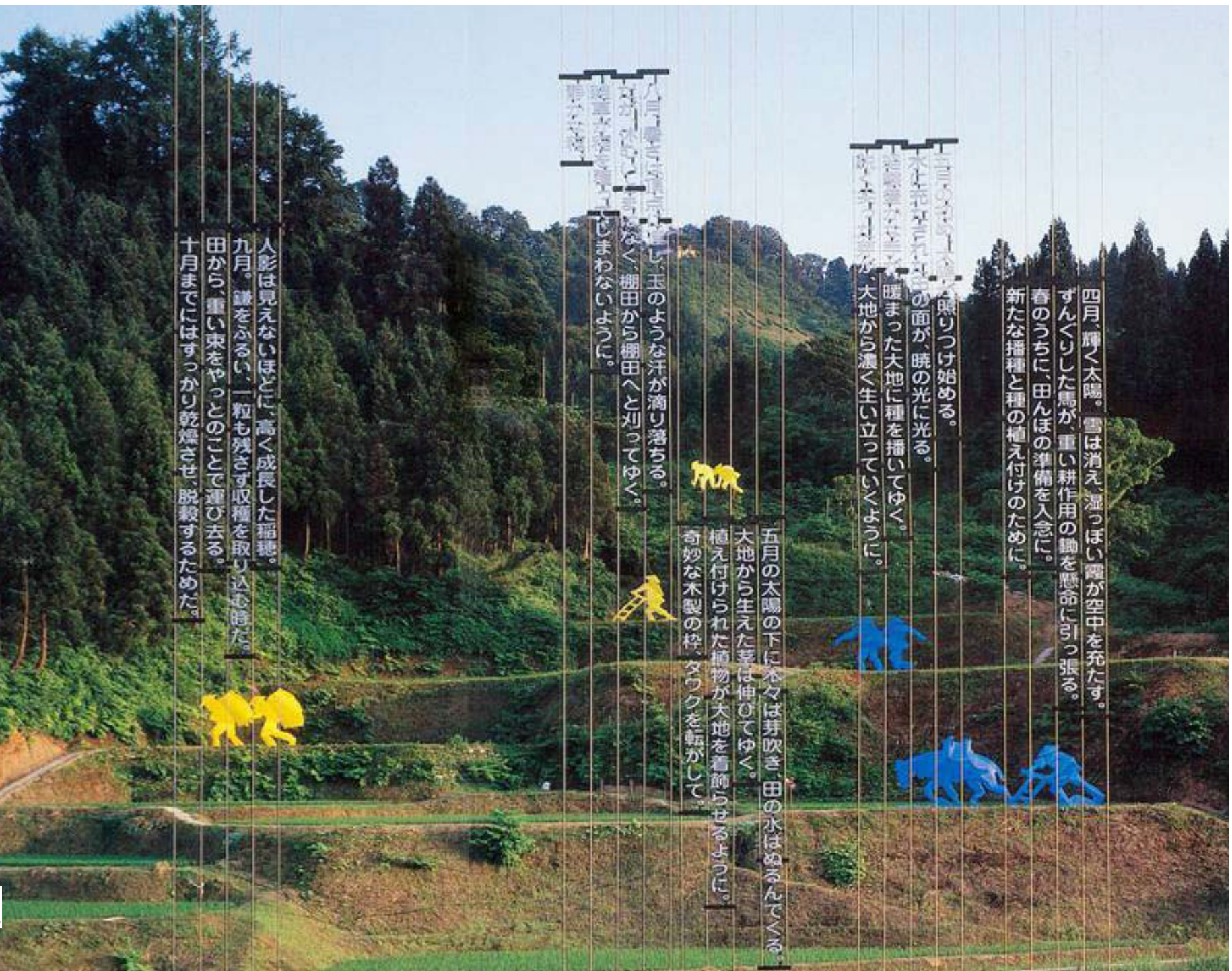
来場者数	第1回（2000年）	約16万人
	第2回（2003年）	約20万人
	第3回（2006年）	約35万人



越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



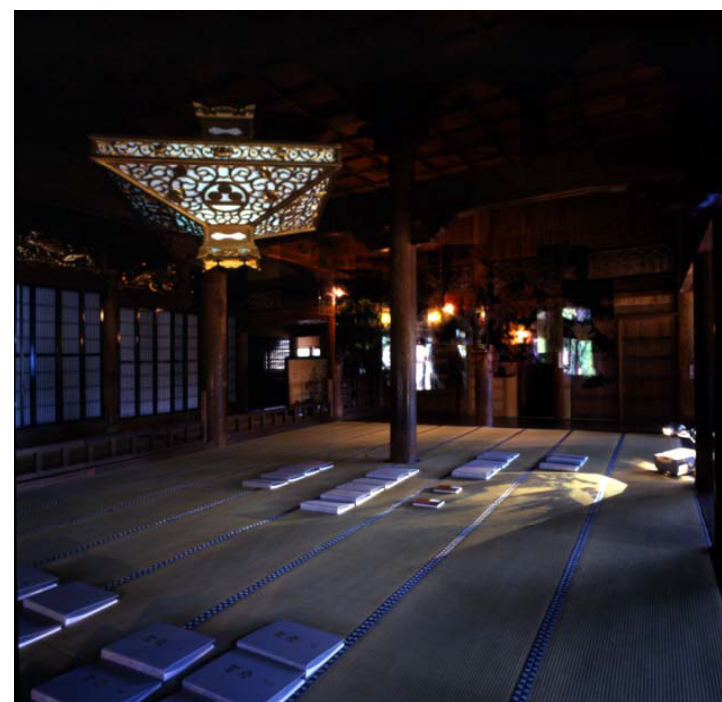
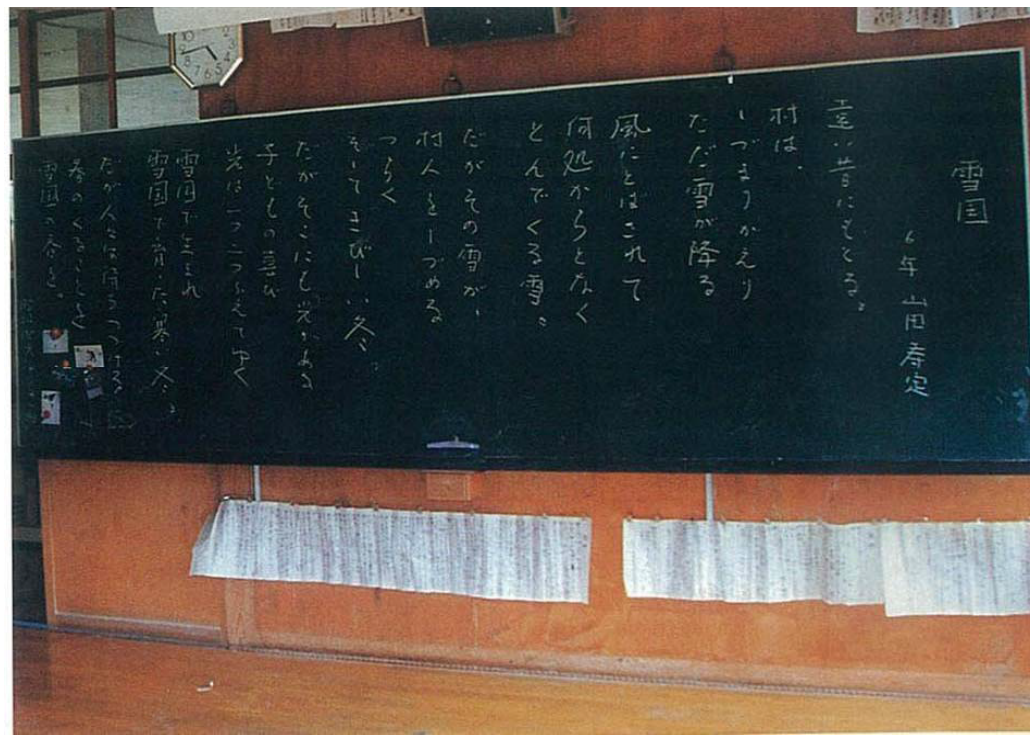
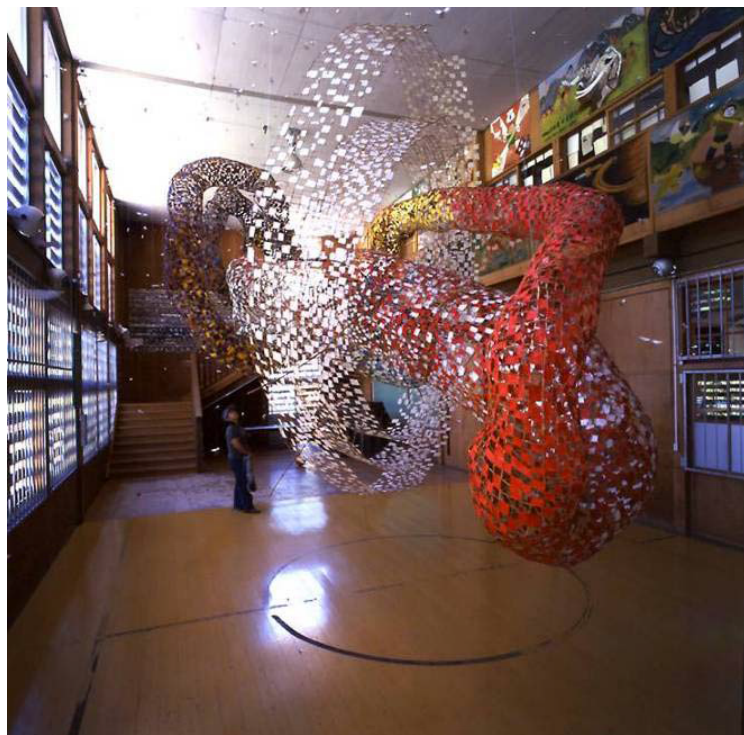
四月、輝く太陽。雪は消え、湿っぽい霞が空中を充たす。
すんぐりした馬が、重い耕作用の轡を懸命に引っ張る。
春のうちに、田んぼの準備を入念に。
新たな播種と種の植え付けのために。

五月の太陽の下に、木々は芽吹き、田の水はぬるんでくる。
大地から生えた芽は伸びてゆく。
植え付けられた植物が大地を着飾らせるように。
奇妙な木製の枠、タワクを転がして。

六月、暑い日が続く。玉のような汗が滴り落ちる。
八月、稲穂が黄金色に熟す。
九月、鎌をふるい、一粒も残さず収穫を取り込む時だ。
田から、重い束をやっとのことで運び去る。
十月までにはすっかり乾燥させ、脱穀するための。

人影は見えないほどに、高く成長した稲穂。
九月、鎌をふるい、一粒も残さず収穫を取り込む時だ。
田から、重い束をやっとのことで運び去る。
十月までにはすっかり乾燥させ、脱穀するための。

越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



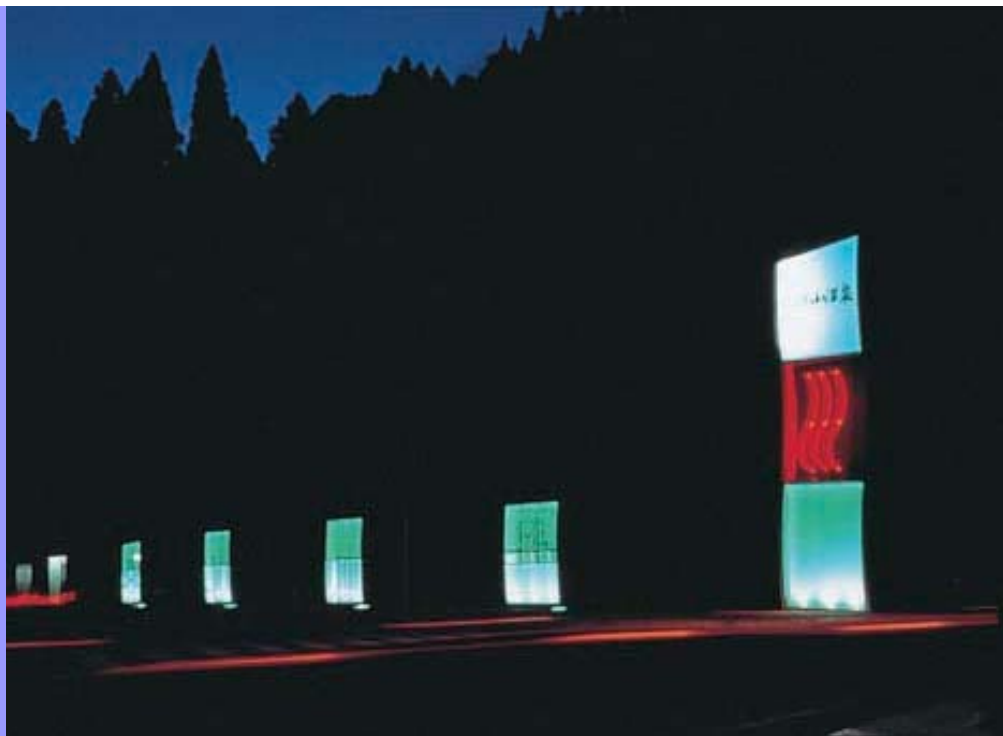
越後妻有アートトリエンナーレ



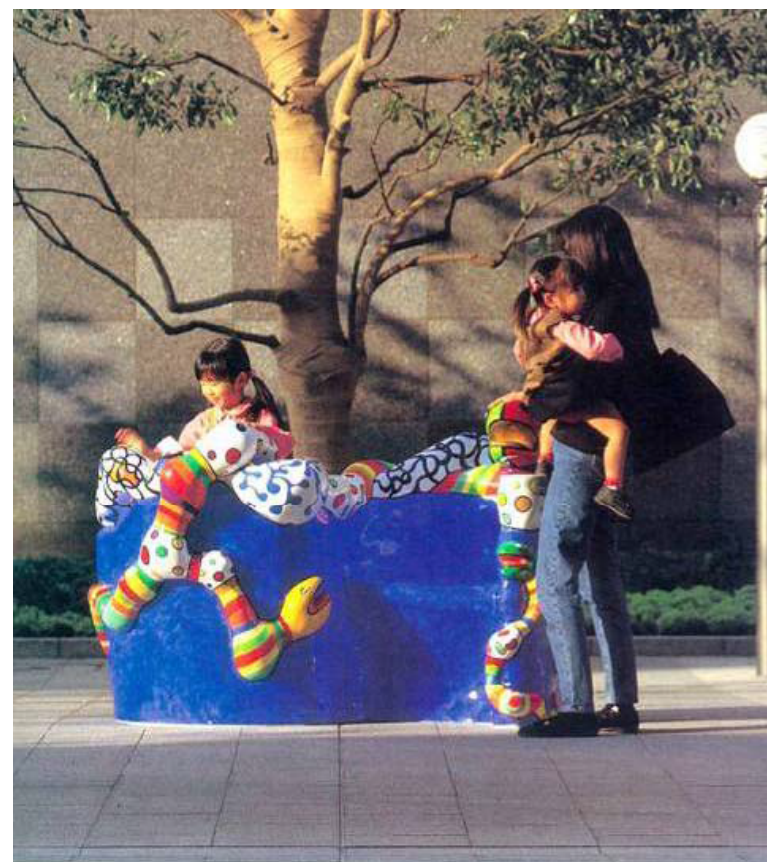
越後妻有アートトリエンナーレ



越後妻有アートトリエンナーレ



ファールレ立川【機能のアート化】



アントニオ・ガウディ展



スペインの生んだ、奇跡の建築家。

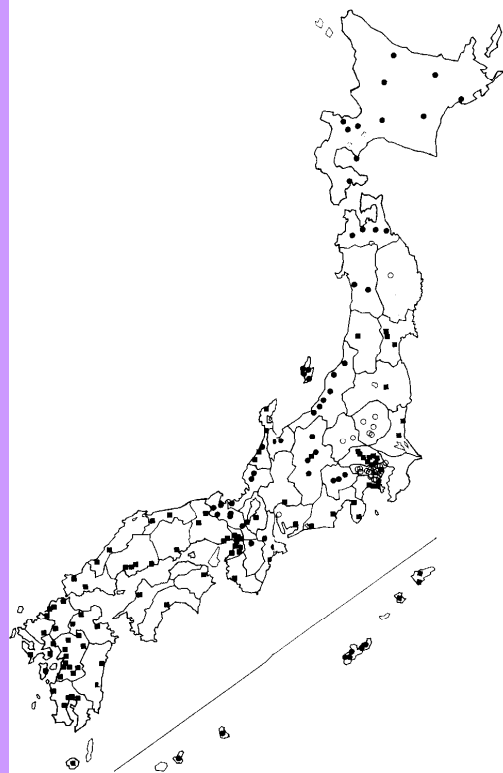
●深山紀信撮影 50余点 ●神秘的作品に魅了 ●未知なる国への扉 ●平素人の住み家 ●自然への賛歌、象徴的な表現 ●未来次元に達する魔性 ●現代芸術・建築・デザインの根源

ガウディー展 **Gaudi**
[映画と講義] 2月3日(土)
 長野県勤労者福祉センターホール
 映画・講義料：500円 当日8500円
2月23日(金)→28日(水)
 ●ガウディーのドローイングなど150余点 日本初公開
会場＝ながの東急デパート **[7階・催し会場]**
 上映時間：15時・17時
 映画 PM6:30 アントニオ・ガウディーの作品
 制作・撮影・ナレーター＝栗津潔 音楽＝高橋悠治
 講義 PM7:30 栗津 潔
 原 広司 高橋悠治 北川フラム
 主催＝長野ガウディー実行委員会
 後援＝スペイン大使館・長野県・長野県教育委員会
 信濃毎日新聞社・信越放送・長野放送・長野県建築士会
 協賛＝ながの東急デパート
 事務局＝長野市勤労2141-3 信光ビル2F201 ☎35-0040(02内)
 ●協力：印刷・デザイン印刷・印刷・入札印刷●

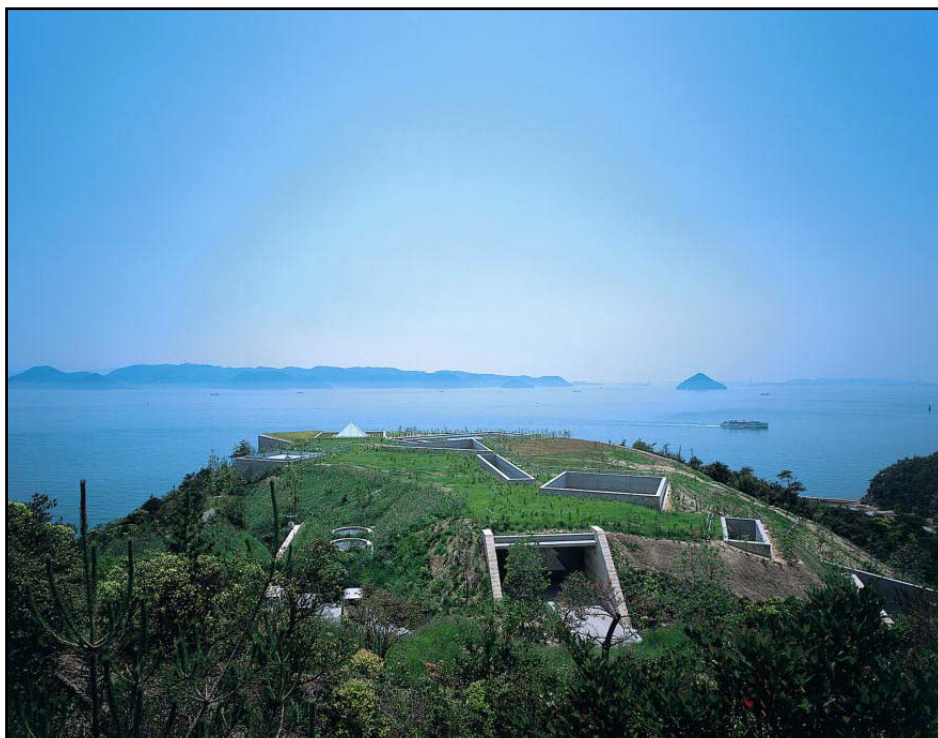
1978-1979年東京展＋全国13会場巡回

アパルトヘイト否！国際美術展

1988-1990年
全国194箇所巡回



瀬戸内【直島】

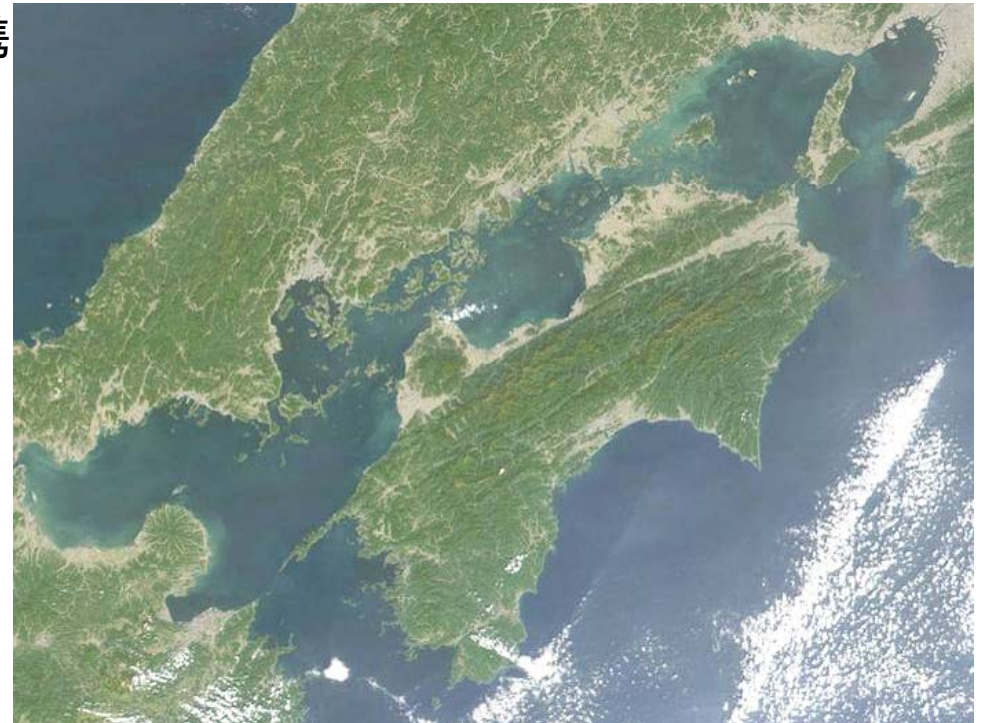


1992年 ベネッセアートサイトオープン
2004年 地中美術館オープン

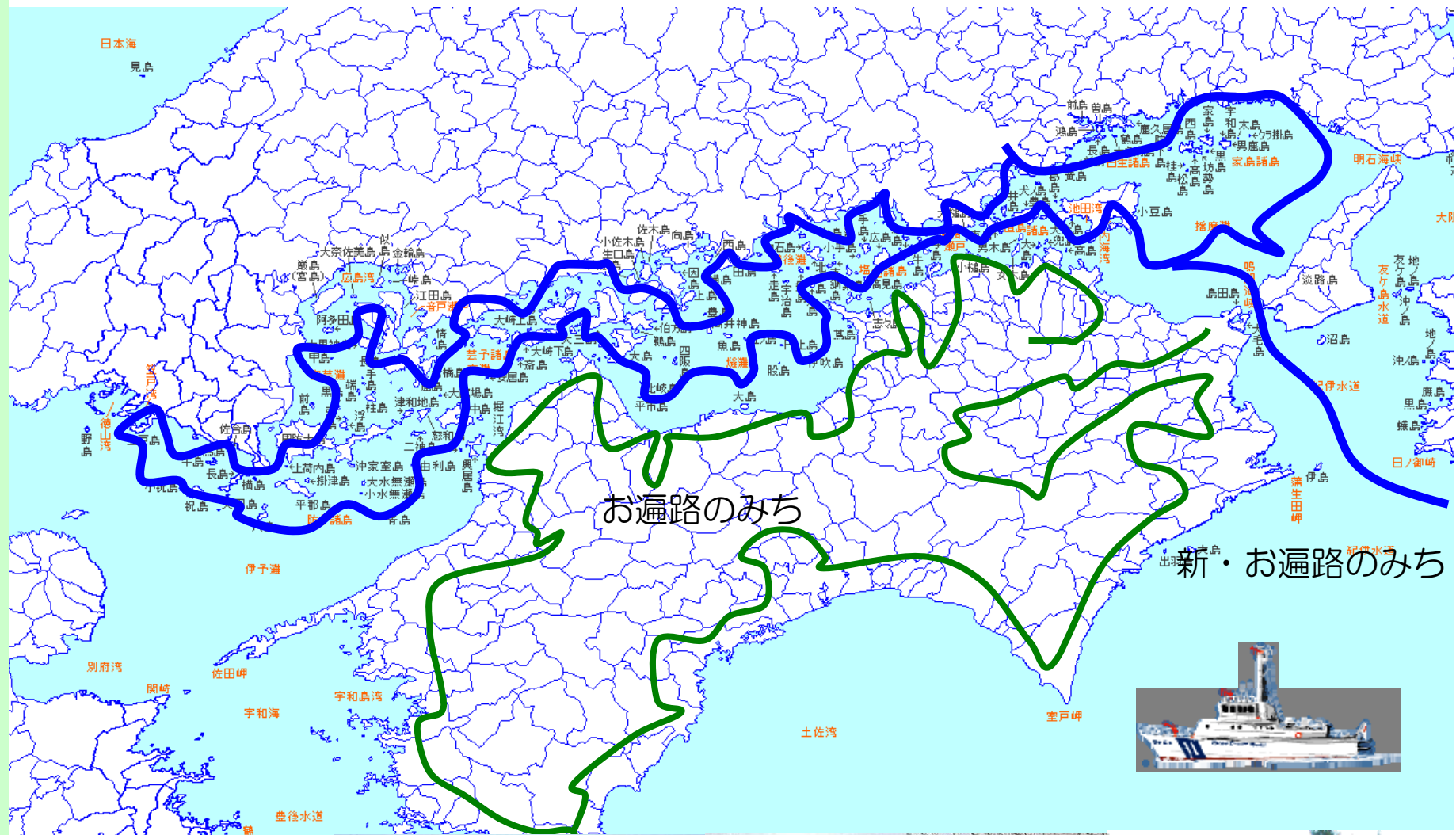


島・生活・アート

- ◆ 各島にテーマを掲げる（民俗・生活・歴史・自然）
世界に対する明確なメッセージを島ごとに掘り下げる
- ◆ ー トでテーマを見せる
島固有の豊かな自然・植生や風習を活かしたアート
- ◇ 世界の叡知
香川大学、岡山大学等との連携
- ◇ 美術館・博物館連携
イサムノグチ庭園美術館
猪熊弦一郎美術館
金毘羅宮文化ゾーン
大原美術館
平和記念館等



瀬、内国際芸術祭(仮称)



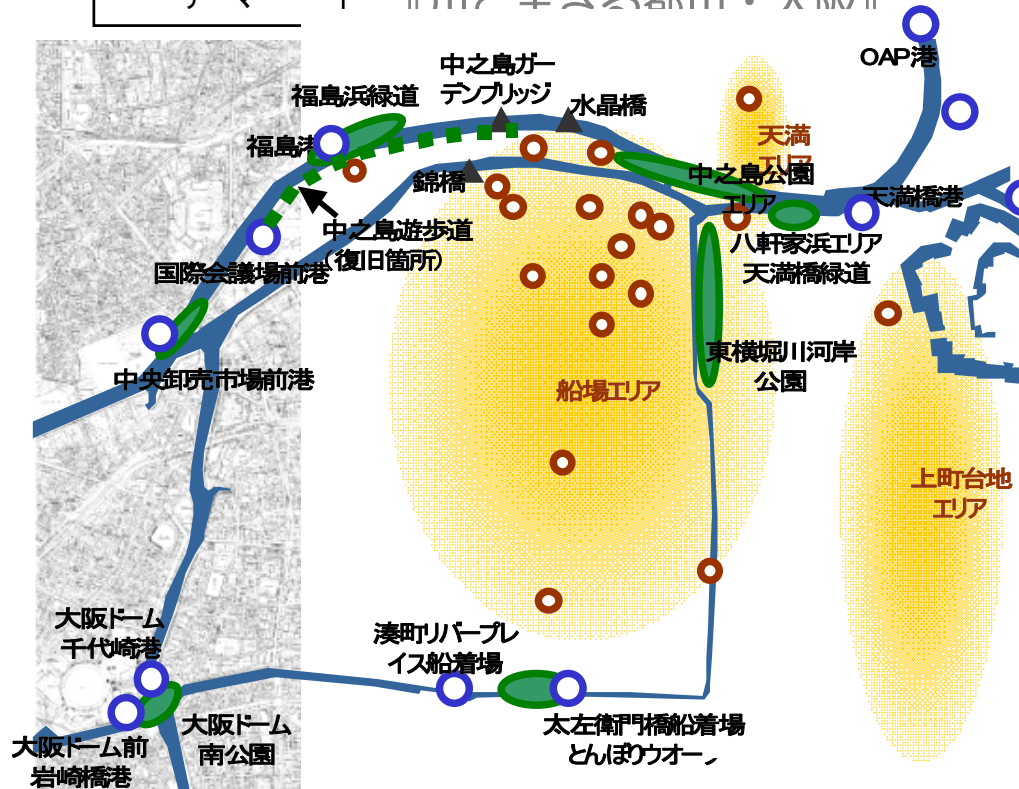
「水都大阪2009」

2009年8月22日（土）～10月12日（月・祝） [52日間]



テーマ

『川と生きる都市・大阪』



水都大阪2009

アーティスト・ミート・大阪 「世界青年文化フォーラム」

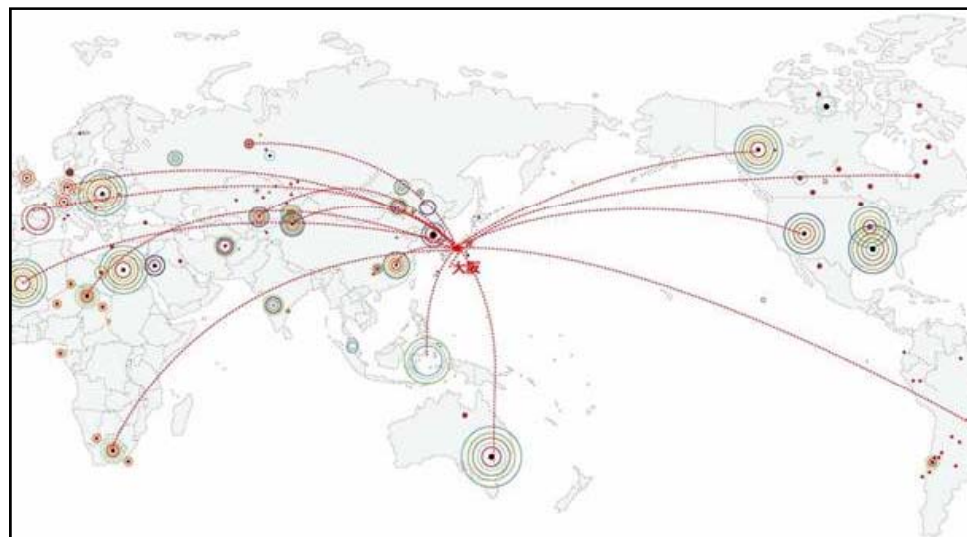
■21世紀に相応しい大阪の次代を担うネットワークの構築

■世界の若者が共に学び、意見交換する場

■サポーターの交流の場

■アート工房

日本の各大学、ボザール、上海大学、香港大学等、
アジアを中心に世界各地の大学、機関が大阪に集結



2001年～隔年 東京及びヨーロッパ・アジア巡回

これまでの開催地

東京、パトラス、ルクセンブルグ、メルボルン、パース、上海、リール、香港、コーク、安養、ゲント、サラマンカ、ルー、リスボン、マドリッド、ポルト、ロッテルダム



日本／2007



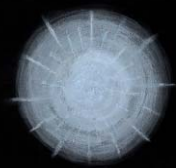
ルセロナ／2007



オーストラリア／2007



香港／2005



150億年前
ビッグバン 宇宙の誕生



星の誕生



46億年前 地球誕生
70%が水で覆われている



土と水の芸術祭

- 期間：2009年7月～2010年2月（8ヶ月間）
- 新潟に全国的な注目が集まる2009年に、水と土をテーマとした芸術祭を行い、「文化創造都市づくり」の先導的プロジェクトとする。
- 主な事業（案）
 - ・水と土の展覧会
 - ・アートプロジェクト
 - ・生活プロジェクト（仮称）
 - ・伝統芸能プロジェクト（仮称）
 - ・イベントプロジェクト

水・土についての ー 展示のイメージ



栗田宏一 (2006)



磯辺行久 (上 2000)
(下 2003)

